

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	運営推進会議には近隣住民や民生委員様も出席して頂けるようになり、多くの情報が得られるようになった。しかし立地条件や住民性によりスムーズに地域密着が出来ておらず、近所との交流が不足している。	近隣住民に、行事や勉強会に参加して頂ける工夫をしていく。	行事案内のチラシを配布し、まずはホームの中に入れていただく。又、学校行事にも参加させていただく。	10ヶ月
2	23	入居者様のADLが年齢と共に下降しており、全ての入居者様への個別ケアが行き届いていない。	気持ちに寄り添い、安心して頂ける雰囲気づくりと、現在の体力を維持し、生きる事の喜びを実感して頂く。	生活歴・趣味・得意とされることを考慮し、一人一人に合った対応を個別に行う。基本である入居者本意を徹底し、寄り添う時間をできる限り長くしていく。	6ヶ月
3	26	介護計画を立てる際、職員全員の意見や考えが吸い上げられていない。	あらゆる角度から入居者様を見て検討することで、しっかりニーズを把握し、職員全員でお一人お一人に合ったプランを立てていく。	ミーティングやカンファレンスでしっかり話し合い、そこで出た意見を基にして、職員全員でアセスメント・モニタリングをし、介護サービス計画を立てていく。	3ヶ月
4	43	入居者様一人一人の排泄パターンが掴めておらず、業務的になっている。	一人一人の排泄パターンを把握し、いつも清潔で、気持ちよく過ごして頂けるようにする。	時間単位の排泄誘導表を作成し、お一人お一人の排泄パターンを把握する。誘導時は自尊心を傷つけない声掛けをしていく。	2ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。